

建築物総合環境性能評価システムによる

評価結果

■使用評価マニュアル:
CASBEE-新築(簡易版)2006年版

■使用評価ソフト:
CASBEE-NCb_2006(v.1.1)

作成日2006年8月21日

作成者高木将光

確認日2006年8月23日

確認者秋道申一

(1) 建物概要

建物名称	(株)ユーシン精機第6工場	敷地面積	8,482 m ²	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	工場	建築面積	891 m ²	
建設地	京都府京都市	延床面積	2,647 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上4F	
地域・地区	工業地域・防火指定無し	構造	S造	
竣工年	2007年3月 予定	平均居住人員	50 人	
		年間使用時間	2,400 時間/年	

(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ= 2.5

Q-1 室内環境

スコア(評価点): SQ1 = 2.3

Q-2 サービス性能

スコア(評価点): SQ2 = 3.0

Q-3 室外環境 (敷地内)

スコア(評価点): SQ3 = 2.2

LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 2.7

LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 3.0

LR-2 資源・マテリアル

スコア(評価点): SLR2 = 2.8

LR-3 敷地外環境

スコア(評価点): SLR3 = 2.1

(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1

(2-3) 環境性能効率

BEE

注2

Q-2 サービス性能

Q-1 室内環境

Q-3 室外環境 (敷地内)

LR-1 エネルギー

LR-2 資源・マテリアル

LR-3 敷地外環境

BEE =

建築物の環境品質・性能 Q

建築物の環境負荷 L

=

25 × (SQ - 1)

25 × (5 - SLR)

=

37.9

56.9

= 0.6

BEE=3.0

BEE=1.5

BEE=1.0

BEE=0.5

38

57

建築物の環境負荷 L

(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²						
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²						
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²						
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²						

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例

備考

Q: Quality

L: Load

LR: Load Reduction

SQ: Score of Q category

SLR: Score of LR category

BEE: Building Environmental Efficiency

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能 (Q) のスコアSQ(Q-1, Q-2, Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値) から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。